

超高強度コンクリート・PC用仲介接着材
下地調整材
BR-HS用仲介接着材

1 材形

BR-HSフィラー

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
NSK-1610039

「BR-HSフィラー」は、超高強度コンクリート補修用に開発された超高強度モルタルBR-HS用の仲介接着材・下地調整材です。

特 長

01 密着性

すぐれた密着性により超高強度コンクリートへの仲介接着材・下地調整材として利用可能です。

02 超高強度構造物補修用フィラー

超高強度モルタルBR-HSと合わせ、超高強度構造物への改修・修繕に適用可能です。

用 途

- ・高強度/超高強度コンクリート・PCへの仲介接着
- ・BR-HSの仲介接着

適用下地

- ・高強度/超高強度コンクリート・PC・高強度PC等

●標準施工仕様

工 程	材 料・調 合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所 要 量
下地調整材	BR-HSフィラー 粉 体：10 kg 清 水：2.4～2.6 L	金こて 刷 毛	1～2	16 以上 工程間 1 以上 (20℃)	約6.7㎡ 約1.5kg/㎡ (約1mm厚)

(注) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

超高強度コンクリート・PC用仲介接着材
下地調整材

BR-HS用仲介接着材

1 材形

BR-HSフィラー

荷 姿

- ・ 仲介接着用下塗材
BR-HSフィラー 10 kg／袋入
- ・ 高強度モルタル
BR-HS 粉体 20 kg／袋入
混和液 2.7 L／ポリ容器入

性能試験成績書

※結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。

① JIS A 6916:2014に準拠

試験項目		規 格	結果
軟度変化		-20%～20%	4.7%
耐ひび割れ性		ひび割れがないこと	異常なし
耐衝撃性		ひび割れ及び剥がれがないこと	異常なし
付着強さ	標準養生	1.0 N/mm ² 以上	2.5 N/mm ²
	低温養生	0.7 N/mm ² 以上	2.6 N/mm ²
吸水量		1 g 以下	0.6 g
耐久性		割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは 1.0 N/mm ² 以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断した 場合は 0.7 N/mm ² 以上とする。	異常なし 2.0 N/mm ²

② 各種コンクリート面への接着強度 (建研法)

下地の種類	養生条件	付着強さ	破壊部位
普通強度コンクリート (Fc=30 N/mm ²)	標準養生 (材齢 14 日)	3.06 N/mm ²	基材凝集：100%
	温冷繰り返し (10 サイクル)	2.70 N/mm ²	基材凝集：80% 材料凝集：20%
高強度コンクリート (Fc=60 N/mm ²)	標準養生 (材齢 14 日)	2.49 N/mm ²	基材凝集：33% 材料凝集：67%
	温冷繰り返し (10 サイクル)	2.61 N/mm ²	基材凝集：27% 材料凝集：73%
高強度コンクリート (Fc=100 N/mm ²)	標準養生 (材齢 14 日)	2.63 N/mm ²	材料凝集：100%
	温冷繰り返し (10 サイクル)	2.35 N/mm ²	基材凝集：7% 材料凝集：93%

注 意 事 項 (セメント系下地調整材)

【施工上の注意事項】

- ◀下 地▶
 - 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
 - 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- ◀環 境▶
 - 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適度な水湿し、または下塗りを行ってください。
 - 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等) 塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
 - 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
 - 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
 - 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- ◀施 工▶
 - 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
 - 施工面とその周辺 (車や付帯設備を含む) や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
 - 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
 - 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
 - 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
 - 施工箇所が高湿である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
 - 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
 - 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。
- ◀保 管▶
 - 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
 - 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。
- 【安全衛生上の注意事項】
 - 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
 - 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
 - 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
 - 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
 - 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
 - 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
 - 取扱い中は、粉じんがたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
 - 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。
 - 絶対に行わないでください。
 - 子供の手の届かない所に保管してください。
 - 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

